

企業による 内発型の地域づくりの推進

～ 経団連会員企業による取り組み事例 ～

経団連は提言「ウィズ・ポストコロナの地方活性化—東京圏から地方への人の流れの創出に向けて—」（2020年11月公表）において、人を惹き付ける地域づくりにあたっては、地域を担う多様な主体の連携による内発型の取り組みを進めることが重要として、経団連会員企業・団体等による具体的な活動事例を紹介した。

本特集では、その後のフォローアップとして、内発型の地域づくりに取り組む4社の事例を紹介する。

経団連会員企業・団体などによる取り組み（例）

住む

基盤となる各種サービス・ インフラの底上げ

- ▶ データ駆動型のまちづくり
- ▶ 移動の支援
- ▶ エネルギーの効率化、循環型社会の構築
- ▶ 防災・減災

働く

産業の振興と雇用の創出

- ▶ 地元の中堅・中小企業への支援
- ▶ 地場産業の支援
- ▶ 新産業の振興
- ▶ 雇用創出

育む

地域を支える人づくり

- ▶ 健康増進
- ▶ 人材の育成
- ▶ オンラインを活用した教育支援

交わる

域内外における 人の交流の拡大

- ▶ 関係人口の創出
- ▶ 交流人口の拡大

（企業事例）

住む

出光興産

地域課題の解決パートナー
—移動と資源循環

働く

野村證券

内発型の地域活性化へのチャレンジ
—“地産地消型の事業承継”と“後継者（アトツギ）によるイノベーション支援”

育む

トヨタ自動車東日本

ものづくりを通じた人づくり

交わる

ANAホールディングス

魅力あふれる「第二のふるさと」をつなぐ心の翼に